

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-79	高等学校	国語科	現代文 B	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	現 B 328	新編現代文 B		

## 1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示された教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）を学習活動を通じて達成することを意図して編修しました。

- 1 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができる構成にしています。
- 2 個人の価値を尊重し、一人一人の能力を伸ばし、創造性を培うことを可能にしています。
- 3 正義と責任、男女の平等を重んじ、主体的に社会参画するよう、促しています。
- 4 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養います。
- 5 伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。

**時は金なり**  
ベンジャミン・フランクリン

これを「手に入れる」ことから考えれば、時を無駄にするなどという勤労と効率を勧めるまじよっぴかりけりくさい警句になつてしまふが、「これを人に「与える」という視点からすれば、気前よくなれども介助でもさうだが、ケアの本質には、他の人に、自分にとって最も大事なものの、つまりは時間をあげるということがある。

あしたのそのつぎに  
思いを描きます。  
まだ見えないけど、  
なんとなく見えるかな、  
を大切にします。  
日比野克彦

アンチエスタの主宰する「明後日新聞社」の宣言である。明日の姿というのはいま自分が立っている視点からしか描けない。あたりまえのことだ。だから日比野さん、今日の二エースの延長ではなくその彼方にあるものを描うという。現下の視野の内には位置づけようのないもの、それを描くのがクリエイティブな活動だ、と。

スเปนのこの思想家は、第一次世界大戦後しばらくは、この惨劇の根に現代人の「慢心」を見るようになって、「慢心」とは自分に満足し、自分以外のいかなる審判にも自分を委ねないこと。十九世紀以降、人類はそうした「慢心したお坊ちゃん」の時代に入つたと警鐘を鳴らした。ユダヤの反逆（「神聖」）から。



**折々のことば**  
わだきよかす  
鷺田清一

「言葉を読む前と読んだ後に自分がずれてしまっている、ワープしているというか、少し変わったという経験が起らないと、本当にいい文章を読んだということにはならないんじゃないかな。納得できない、理解できない言葉ばかりで、理解できなところへと連れていってくれる言葉が大事だと思います。」

鷺田清一 一九四九（昭和）  
二四一 哲学者、京大教授に  
生まれた。生活の場所で考  
える「確信哲学」を実践し  
ている。著書に『じかん・  
この不思議な存在』『ひと  
はなぜ愛するのかわ』『聴  
くことの刃』など。本文  
は「明後日新聞 朝刊連載コ  
ラム「折々のことば」二  
〇一五年にもつた。

▲P6-8 「折々のことば」

## 全体の構成

全体をⅠ部とⅡ部とに分け、2～3年の2か年にわたる使用を可能にしています。

単元は文種別に教材を組み合わせ構成しています。各単元の配列は、全体として**学習の深化・発展**に効果が上がるよう留意するとともに、単元相互が連関するように配慮しています。

各単元の教材はテーマや題材における関連を持たせています。単元扉に**学習目標**を掲げ、学習者の意欲を高める配慮をしました。さらに、教材から得た力を発展的に応用できるようにするために、**コラム「ズームアップ」**「小説の読み方」「評論の読み方」を設けています。

## 教材の選定について

情報化・国際化といった社会の変化や価値観の多様化へ対応するために、国語科の学習においては、**幅広い知識と教養を身につけ**、国語力の充実を図り、多様な価値観の中から自己の新たな世界を切り開くべく、的確な理解力、柔軟な思考力、積極的な表現力を伸ばし育てていくことが重要となります。そこで本教科書では、優れた近代の文章遺産をはじめ、現代社会と人間を深く洞察する学習価値が高く、しかも学習者にとって親しみやすく、学習意欲を高く維持できる文章を選定しました。学習者の読む能力を高め、主体的に表現する契機となるようなバラエティに富んだ教材を選択・配置しました。

## 文種ごとの特色

### 1. 小説——格調高い名作と新鮮な現代小説

定評ある近現代の名作とともに、現在活躍中の作家による、新鮮な現代小説を豊富に採録しました。

Ⅰ部 5教材 パパミルク (小川糸)・ランドセル (角田光代)・ころも (夏目漱石)・菊 (山川方夫)・土神と狐 (宮沢賢治)

Ⅱ部 5教材 ひよこの眼 (山田詠美)・山月記 (中島敦)・山椒魚 (井伏鱒二)・鞆 (安部公房)・掟の門 (カフカ)

### 2. 随想——深く思考する意義に触れる

身近な出来事を話題に、人の心を見つめ、思考する作品を通して、学習者を深い思考に導く作品を選定しました。

Ⅰ部 2教材 こんにちは (香山リカ)・セレンディピティ (外山滋比古)

Ⅱ部 2教材 科学の言葉、芸術の言葉 (福岡伸一)・ごはん (向田邦子)

### 3. 評論——的確な理解力と論理的思考力を育成

文化論、コミュニケーション論、科学論、社会論、経済論など、多岐にわたる分野からバランスよく豊富に教材を選定しました。今日的な鋭い問題提起に富んだ話題で、文章構成も論理性に優れています。平易かつ簡潔な表現で、学習者が自ら考えるよう促します。

### 4. 俳句・短歌・詩——名作を読み味わう

俳句・短歌・詩は、代表的な近現代の名作を精選しました。

## 2. 対照表

図書の内容・構成と**教育基本法第二条の第1号から第5号**との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

第I部			
図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
折々のことば 作ろう 私たちの折々のことば	鷲田清一	目標：自分に向かって光る言葉を見つける 「折々のことば」を読み、続いて学習者が自分の「折々のことば」を書く活動をします。心に響いた言葉を書きとめ、紹介する文章を書き、発表し合う活動を通して言葉に対する感覚を磨きます。 <b>幅広い知識と教養を身に付けることができます。〈第1号〉</b>	P6～14
一 随想 こんにちは セレンディピティ	香山リカ 外山滋比古	目標：新しい発想にふれる 「こんにちは」は円滑なコミュニケーションを図るために挨拶を薦めます。「セレンディピティ」は、思いがけない偶然が発見につながると説きます。両教材を通して、学習者が新しい自分や新しい世界を見つけることを可能にします。 <b>自他の敬愛と協力を重んずる心を育てます。〈第3号〉</b>	P15～26
二 小説1 パパミルク ランドセル	小川 糸 角田光代	目標：人物の心情を読み取る 「パパミルク」と「ランドセル」はともに家族の形が変わる局面にいる若い女性が主人公です。登場人物の立場になって気持ちを想像し小説を読むおもしろさに触れることを意図して配置しています。 愛情を持って家族に接し、 <b>生命を尊ぶ態度を養います。〈第4号〉</b>	P27～52
三 評論1 好き好き至上主義 ゲラダヒヒの平和社会 ズームアップ1 聴くこと力	本川達雄 大井 玄	目標：筆者の提示する意見と根拠を読み取る 「好き好き至上主義」は、友達作りや進路の選択に際して、自分の好きなことを優先するのは、生物多様性を守るのと反対の発想だと説きます。「ゲラダヒヒの平和社会」は、ゲラダヒヒの社会と認知症の老人の会話を観察して、情動的コミュニケーションの大切さを説きます。評論読解の基礎として、筆者は何を大切だと言い、なぜそれを大切だとしているのかを読み取る学習を意図しています。 <b>生命を尊び、自然を大切に</b> する態度を育てます。〈第4号〉	P53～70
四 俳句・短歌 現代の俳句 現代の短歌 ズームアップ2 日本人の心に刻まれた定型		目標：俳句・短歌の型と技法を理解し情景や心情を読み取る 近代以降の、時代を画した韻律を味わうことを目的としています。取り上げている作品は、いずれもそれぞれの時期の代表的な作品であり、学習者は韻文表現の豊かさ、ひいては言葉の可能性について主体的に学ぶことができます。 <b>伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する</b> 心を育てます。〈第5号〉	P71～80
五 小説2 こころ ズームアップ3 鎌倉の海、上野の桜	夏目漱石	目標：長編に挑戦し読みの幅を広げる 「こころ」の登場人物の心理変化を読み取る作業の中で、学習者は人間精神の孤独や言語表現の可能性についても知ることができます。また、現代の基礎を作った明治という時代を知ることへ学習を発展させることができます。 <b>幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培う</b> ことを可能にしています。〈第1号〉	P81～112

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>六 評論2</b> 戦う植物 かんじんなことは、目に見えない？ 稲垣栄洋 池内 了	目標：視点を変えてみる，方法を新しくする 「戦う植物」は，植物が作ってきた地球環境を人間が変えつつあることを考えさせます。「かんじんなことは，目に見えない？」は見えない物質が，宇宙を構成する物質の大部分を占めると述べています。両教材を通して自然を征服し宇宙を探索してきた文明や科学のあり方について考えるよう促します。 <b>生命を尊び，自然を大切に，環境の保全に寄与する態度を養います。</b> 〈第4号〉	P113～130
<b>七 小説3</b> 菊 土神と狐 ズームアップ4 恋愛と孤独 山川方夫 宮沢賢治	目標：人物相互の關係に着目しながら作品を読む 「菊」と「土神と狐」はともに恋愛小説です。恋愛には，自己と他者，他者と他者との關係を見えるようにしたり見えなくしたりする側面があります。こうした微妙な心理表現を味わうことを学習の中心にしました。 恋愛小説の読解を通して <b>豊かな情操</b> を培います。〈第1号〉	P131～162
<b>八 評論3</b> 持たないという豊かさ ミロのヴィーナス 原 研哉 清岡卓行	目標：逆説的な表現や発想を読み解く 「持たないという豊かさ」も，「ミロのヴィーナス」も物が無いことが，逆説的に「豊かさ」や「美」の存在を際立たせることを説いています。両教材とも，逆説的な表現と常識を破る発想があり，このような表現と思考とのつながりをたどることで，評論文のもつ説得力を学習できます。 <b>伝統と文化を尊重し，我が国と郷土を愛する心</b> を育てます。〈第5号〉	P163～182
<b>九 表現</b> 【メディア・リテラシー】①新聞記事を読み比べる ②広告というメディアを読む ③情報を編集する 【小論文】①要約の方法 ②文章読解型小論文の書き方 ③文章のリフォーム——推敲 ズームアップ5 小論文テーマ例一覧	読むことの学習活動を通して培った国語の力を，話すこと・聞くこと，書くことに応用・発展的に展開できるよう，特にメディア・リテラシーと小論文を取り上げています。読む一書く一聞く一話すという4つの行為を関連させたワーク中心の活動を通して表現する力が身につくように組み立てました。 <b>創造性を培い，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養</b> えるようにしました。〈第2号，3号〉	P183～196
<b>第Ⅱ部</b>		
<b>一 随想</b> 科学の言葉，芸術の言葉 ごはん 福岡伸一 向田邦子	目標：随筆の幅広さや奥行きを味わう 「科学の言葉，芸術の言葉」は芸術と科学の交点を探る知の旅，「ごはん」は食事を通しての戦時下を家族と生きた日々の回想です。両教材とも，筆者の生きる姿勢に触れる随筆の妙が味わえます。 <b>伝統と文化を尊重し，我が国と郷土を愛する心</b> を育てます。〈第5号〉	P197～212
<b>二 小説1</b> ひよこの眼 山田詠美	目標：表現の細部に注意し，人物のおかれた状況と心情を読み取る 転入生の目を見て，「私」はなぜか懐かしさを感じます。その謎を解いていくうちに意外な展開になります。表現の細部に注意して深く味わうことが可能です。 <b>個人の価値を尊重して</b> 登場人物の心情を読み取ります。〈第2号〉	P213～230
<b>三 評論1</b> 「間」の感覚 「である」と「する」こと 高階秀爾 丸山真男	目標：異なる文化や社会を比較する 「『間』の感覚」は西洋と東洋の「間」について比較します。「『である』ことと『する』こと」は「である」と「する」ことを比較します。比較の方法を使って，日本の文化や近代という時代の特徴を鮮やかに浮かび上がらせています。 <b>伝統と文化を尊重し，我が国と郷土を愛する心</b> を養います。〈第5号〉	P231～254
<b>四 詩</b> 樹下の二人 死なない蛸 歌 鎮魂歌 表札 ズームアップ1 言葉で世界を新しく見直す 高村光太郎 萩原朔太郎 中野重治 木原孝一 石垣りん	目標：レトリックを手がかりに感情や思想を読み取る 日本近代詩の確立に大きく貢献した詩人による人口に膾炙した作品を採録しました。近代詩に特徴的なリズムや形式，比喩など，修辞法の学習も可能にしています。生徒は音読することによって近代詩に独特なリズムや語法に体感的に気づくことができます。 <b>伝統と文化を尊重し，我が国と郷土を愛する心</b> を養います。〈第5号〉	P255～276

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>五 小説2</b> 山月記 中島 敦 山椒魚 井伏鱒二 ズームアップ2 主人公の人物像	目標：視点や語り注意到しながら作品を読む 昭和初期に書かれた優れた短編小説を読むことで、文学作品の鑑賞力を養うことを目的として配置しています。「山月記」と「山椒魚」は、ともに独特な視点で人間存在の深層に迫った名作です。学習者は、文章を正確に読み、登場人物の心理を追いつつ、人間存在についての考察を主体的・自覚的に深めていくことが可能です。 <b>自他の敬愛と協力を重んずる心を育てます。〈第3号〉</b>	P277～308
<b>六 評論2</b> 〈害虫〉の誕生 瀬戸口明久 原始社会像の真実 新納 泉 ズームアップ3 〈歴史〉へのアプローチ	目標：常識を問い直す 昔からの常識のように語られることでも、ある時期に作られたものがあります。「害虫」という観念や、理想化された原始社会のイメージがそれにあたります。常識を鵜呑みにせず問い直す批判的な思考を身につけることを目的に単元を構成しました。 <b>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養います。〈第1号〉</b>	P309～332
<b>七 小説3</b> 鞆 安部公房 掟の門 カフカ／池内 紀 [訳] ズームアップ4 「寓意」の効用について	目標：作品から寓意を読み取る 「鞆」は、鞆が人の行先を決め、「掟の門」は何年待っても旅人は門を入れません。どちらも、違和感を覚える奇妙なストーリーです。小説世界への違和感が、学習者にとって人間や世界を見る目を変えるきっかけになることをねらいとしています。 <b>豊かな情操をはぐくみます。〈第1号〉</b>	P333～348
<b>八 評論3</b> 未来への責任 加藤尚武 欲望と資本主義 佐伯啓思	目標：筆者の意見を参考に自分の意見をもつ 「未来への責任」では、現在生きている人間たちだけで地球の未来を決めてよいのか、筆者が問います。「欲望と資本主義」では人間の欲望はどのように生じるのかを説明しています。両教材とも、現代が抱える課題を学習者が議論することを意図しています。 <b>生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養います。〈第4号〉</b>	P349～369
学習を深める1 小説の読み方 学習を深める2 評論の読み方	「小説の読み方」「評論の読み方」は本教科書全編にわたる小説と評論から得た力を、今後の読解に発展的に応用できるように、読解の方法を総合的に解説しています。 <b>幅広い知識と教養を身に付けます。〈第1号〉</b>	P370～376
付録 現代文読解のための思考の枠組み集 付録 現代文読解のためのキーワード集 付録 近現代文学史年表	付録は、現代文を読解するうえで必要な知識、語句について端的に解説しました。 <b>幅広い知識と教養を身に付けます。〈第1号〉</b>	P377～396

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、編集上の工夫をしました。

- ◎近代以降に書かれた多種多様な文種と、さまざまなジャンルの文章によって構成し、全体を通じて、中学校での学習の成果を発展拡充させながら、学習が進められるように配慮しました。(学校教育法第五十一条第1号)
- ◎評論文や文学的な文章に関連して参考にする文章を示すことで、社会についてより理解を深め、さまざまな視点からの健全な批判力を養えるようにしました。(同第2号、3号)
- ◎より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性を踏まえた、判読しやすい配色やレイアウト、表示の工夫により、学びやすい紙面づくりに配慮しています。
- ◎教科書の印刷には再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-79	高等学校	国語科	現代文 B	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	現 B 328	新編現代文 B		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 編修の基本方針

- 1 さまざまな言語活動を通して、言葉への興味・関心を高めることができるような教材化を目指しました。
- 2 現代社会が抱える諸課題について、幅広い知識と教養を身に付け、自ら考察を深めることができる教材を厳選しました。
- 3 長く読み継がれている名作をはじめ、生徒と同時代の親しみやすい作品も掲載して、豊かな情操と道徳心を培えるよう配慮しました。
- 4 我が国の国土の美しさ、郷土の温かさ、伝統文化の豊かさについて知り、日本語を愛する心をはぐくむ教材を多数選定しました。
- 5 自ら学び自ら考えることを重視し、生徒の主体性の形成に資するような教材化を工夫しました。

### 教材化の工夫

#### ●脚問

本文を読み進めるうえで、読解上の重要な箇所に「？」印をつけ、脚注欄に発問を設置しました。

注意深く本文を読み進める一助になります。

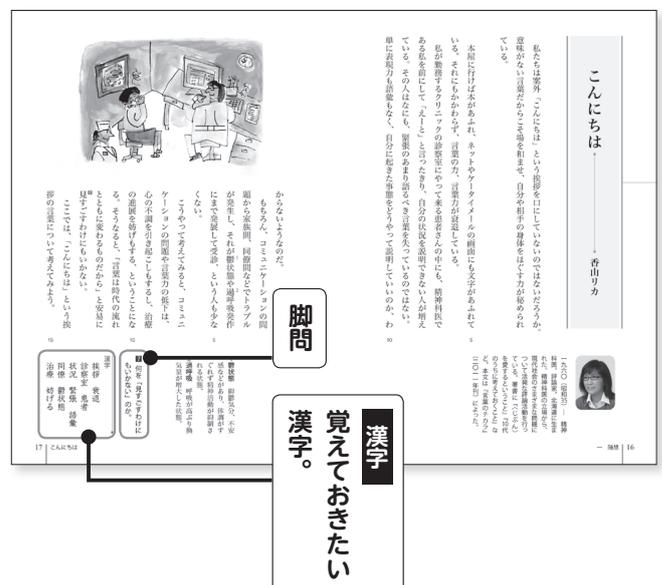
#### ●語句

作品中の、身につけたい語彙、知っておきたい成句や慣用句に「\*」印をつけ、見開きごとにまとめました。意味調べ・文を作るなど、学習活動を提示しています。

#### ●漢字

取り立てて学習したい漢字を脚注欄に見開きごとにまとめて示しました。

▼P16-17 「こんにちは」





読書案内  
学習した教材の習得・活用を図れる書籍を紹介

### 漢字・語句の「アー・ニン・ン」

漢字・語句の「アー・ニン・ン」

①「好き好き至上主義」とは、どのような考え方か、説明してみよう。  
②「好き好き至上主義」と反対の考え方は何か、また、そのように考えるのはなぜか、両の違いを明らかにして説明してみよう。  
③「自分の内の多様性」(36ページ)とあるが、「多様性」の例として挙げられているものを、本文中から探し出してみよう。  
④「自分の外の多様性」(38ページ)と同じ意味の語句を本文中から探し出してみよう。  
⑤マルチン・パーバーは、「二つの関係相手との付き合い方を考えているが、それとどう違うのか、具体的にどう違うのか、説明してみよう。  
⑥筆者は、「多様性」をどのように捉えているか、まとめてみよう。

### 学習の手引き

ヒント①②の考え方の違いを整理し、違いを記入しよう。

ヒント③「多様性」の例を3つ以上書き出してみよう。

ヒント④ 対比されている2つの多様性を整理しよう。

ヒント⑤ 多様性(多様)をどのように捉えているか、まとめてみよう。

読書案内

『多様性』(講談社)

①「好き好き至上主義」は、自分の好きなものを優先して生きていく考え方である。また、自分の好きなものを優先して生きていくことが、他人の好きなことを優先して生きていくことよりも重要である。この考え方は、多様性を重視する考え方である。

②「好き好き至上主義」と反対の考え方は、自分の好きなものを優先して生きていくことが、他人の好きなことを優先して生きていくことよりも重要である。この考え方は、多様性を重視する考え方である。

③「自分の内の多様性」(36ページ)とあるが、「多様性」の例として挙げられているものを、本文中から探し出してみよう。

④「自分の外の多様性」(38ページ)と同じ意味の語句を本文中から探し出してみよう。

⑤マルチン・パーバーは、「二つの関係相手との付き合い方を考えているが、それとどう違うのか、具体的にどう違うのか、説明してみよう。

⑥筆者は、「多様性」をどのように捉えているか、まとめてみよう。

▲P58-59 「好き好き至上主義」手引き

●表現

### 新聞記事を読み比べる

新聞記事を読み比べる

①「好き好き至上主義」とは、どのような考え方か、説明してみよう。  
②「好き好き至上主義」と反対の考え方は何か、また、そのように考えるのはなぜか、両の違いを明らかにして説明してみよう。  
③「自分の内の多様性」(36ページ)とあるが、「多様性」の例として挙げられているものを、本文中から探し出してみよう。  
④「自分の外の多様性」(38ページ)と同じ意味の語句を本文中から探し出してみよう。  
⑤マルチン・パーバーは、「二つの関係相手との付き合い方を考えているが、それとどう違うのか、具体的にどう違うのか、説明してみよう。  
⑥筆者は、「多様性」をどのように捉えているか、まとめてみよう。

### 新聞記事を読み比べる

新聞記事を読み比べる

①「好き好き至上主義」とは、どのような考え方か、説明してみよう。  
②「好き好き至上主義」と反対の考え方は何か、また、そのように考えるのはなぜか、両の違いを明らかにして説明してみよう。  
③「自分の内の多様性」(36ページ)とあるが、「多様性」の例として挙げられているものを、本文中から探し出してみよう。  
④「自分の外の多様性」(38ページ)と同じ意味の語句を本文中から探し出してみよう。  
⑤マルチン・パーバーは、「二つの関係相手との付き合い方を考えているが、それとどう違うのか、具体的にどう違うのか、説明してみよう。  
⑥筆者は、「多様性」をどのように捉えているか、まとめてみよう。

読書案内

『多様性』(講談社)

①「好き好き至上主義」は、自分の好きなものを優先して生きていく考え方である。また、自分の好きなものを優先して生きていくことが、他人の好きなことを優先して生きていくことよりも重要である。この考え方は、多様性を重視する考え方である。

②「好き好き至上主義」と反対の考え方は、自分の好きなものを優先して生きていくことが、他人の好きなことを優先して生きていくことよりも重要である。この考え方は、多様性を重視する考え方である。

③「自分の内の多様性」(36ページ)とあるが、「多様性」の例として挙げられているものを、本文中から探し出してみよう。

④「自分の外の多様性」(38ページ)と同じ意味の語句を本文中から探し出してみよう。

⑤マルチン・パーバーは、「二つの関係相手との付き合い方を考えているが、それとどう違うのか、具体的にどう違うのか、説明してみよう。

⑥筆者は、「多様性」をどのように捉えているか、まとめてみよう。

▲P184-185 「新聞記事を読み比べる」

## 2. 対照表

第I部					
図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数
折々のことば 作ろう 私たちの折々のことば	鷲田清一	3-(1) イ・ウ・エ・オ 3-(2) -ア・エ 4-(1) 4-(2) 4-(4)		P6～13	
<b>一 随想</b> こんにちは セレンディピティ	香山リカ 外山滋比古	3-(1) -ア・ウ 4-(2) 3-(1) -ア・ウ 4-(2)		P15～20 P21～26	
<b>二 小説1</b> パパミルク ランドセル	小川 糸 角田光代	3-(1) -イ 3-(2) -ア 4-(2) 3-(1) -イ 3-(2) -ア 4-(2)		P27～37 P38～52	
<b>三 評論1</b> 好き好き至上主義 ゲラダヒヒの平和社会 ズームアップ1 聴くこと力	本川達雄 大井 玄	3-(1) -ア・ウ・エ 3-(2) -イ 4-(2) 3-(1) -ア・ウ・エ 3-(2) -イ 4-(2)		P53～59 P60～70	
<b>四 俳句・短歌</b> 現代の俳句 現代の短歌 ズームアップ2 日本人の心に刻まれた定型		3-(1) -イ・オ 3-(2) -ア 4-(2) 4-(3) 4-(4) 3-(1) -イ・オ 3-(2) -ア 4-(2) 4-(3) 4-(4)		P71～74 P75～80	
<b>五 小説2</b> こころ ズームアップ3 鎌倉の海, 上野の桜	夏目漱石	3-(1) -イ・ウ・オ 3-(2) -ア 4-(2)・(3)・(4)		P81～112	
<b>六 評論2</b> 戦う植物 かんじんなことは, 目に見えない?	稲垣栄洋 池内 了	3-(1) -ア・ウ 3-(2) -イ 4-(2) 3-(1) -ア・ウ 3-(2) -イ・エ 4-(2)		P113～121 P122～130	
<b>七 小説3</b> 菊 土神と狐 ズームアップ4 恋愛と孤独	山川方夫 宮沢賢治	3-(1) -イ 3-(2) -ア 4-(2) 3-(1) -イ 3-(2) -ア 4-(2)		P131～143 P144～162	
<b>八 評論3</b> 持たないという豊かさ ミロのヴィーナス	原 研哉 清岡卓行	3-(1) -イ 3-(2) -イ 4-(2) 3-(1) -イ・エ 3-(2) -イ 4-(2)		P163～173 P174～182	
<b>九 表現</b> 【メディア・リテラシー】①新聞記事を読み比べる ②広告というメディアを読む ③情報を編集する 【小論文】①要約の方法 ②文章読解型小論文の書き方 ③文章のリフォーム——推敲 ズームアップ5 小論文テーマ例一覧		3-(1) -エ・オ 3-(2) -イ・ウ・エ 3-(1) -エ・オ 3-(2) -ウ・エ 3-(1) -エ・オ 3-(2) -ウ 3-(1) -エ・オ 3-(2) -イ 3-(1) -エ・オ 3-(2) -イ 3-(1) -エ・オ 3-(2) -イ		P183～185 P186～187 P188～189 P190～191 P192～193 P194～196	

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<b>第Ⅱ部</b>				
<b>一 随想</b>				
科学の言葉、芸術の言葉	福岡伸一	3-(1)-イ・ウ 3-(2)-ア 4-(2)	P197～201	
ごはん	向田邦子	3-(1)-ア・ウ 3-(2)-ア 4-(2)	P202～212	
<b>二 小説1</b>				
ひよこの眼	山田詠美	3-(1)-イ・3-(2)-ア 4-(2)	P213～230	
<b>三 評論1</b>				
「間」の感覚	高階秀爾	3-(1)-ア・ウ 3-(2)-イ 4-(2)	P231～243	
「である」ことと「する」こと	丸山真男	3-(1)-ア・ウ 3-(2)-イ 4-(2)	P244～254	
<b>四 詩</b>				
樹下の二人	高村光太郎	3-(1)-イ・オ 3-(2)-ア 4-(2) 4-(4)	P255～259	
死なない蛸	萩原朔太郎	3-(1)-イ・オ 3-(2)-ア 4-(2) 4-(4)	P260～262	
歌	中野重治	3-(1)-イ・オ 3-(2)-ア 4-(2) 4-(4)	P263～265	
鎮魂歌	木原孝一	3-(1)-イ・オ 3-(2)-ア 4-(2) 4-(4)	P266～271	
表札	石垣りん	3-(1)-イ・オ 3-(2)-ア 4-(2) 4-(4)	P272～276	
ズームアップ1 言葉で世界を新しく見直す				
<b>五 小説2</b>				
山月記	中島 敦	3-(1)-イ・オ 3-(2)-ア 4-(2) 4-(3)	P277～293	
山椒魚	井伏鱒二	3-(1)-イ・オ 3-(2)-ア 4-(2) 4-(3)	P294～308	
ズームアップ2 主人公の人物像				
<b>六 評論2</b>				
〈害虫〉の誕生	瀬戸口明久	3-(1)-ア・ウ 3-(2)-イ 4-(2)	P309～318	
原始社会像の真実	新納 泉	3-(1)-ア・ウ 3-(2)-イ 4-(2)	P319～332	
ズームアップ3 〈歴史〉へのアプローチ				
<b>七 小説3</b>				
鞆	安部公房	3-(1)-イ・ウ 3-(2)-ア 4-(2)	P333～342	
掟の門	カフカ／池内 紀 [訳]	3-(1)-イ・ウ 3-(2)-ア 4-(2)	P343～348	
ズームアップ4 「寓意」の効用について				
<b>八 評論3</b>				
未来への責任	加藤尚武	3-(1)-ア・ウ・エ 3-(2)-イ・エ 4-(2)	P349～357	
欲望と資本主義	佐伯啓思	3-(1)-ア・ウ 3-(2)-イ 4-(2)	P358～369	
学習を深める1 小説の読み方		3-(1)-イ・ウ	P370～376	
学習を深める2 評論の読み方		3-(1)-イ・ウ		
付録 現代文読解のための思考の枠組み集		4-(3)	P377～396	
付録 現代文読解のためのキーワード集		4-(3)		
付録 近現代文学史年表		4-(2) 4-(3)		